

白い森CLASSIC/キッズスクール



おぐに

● 広報

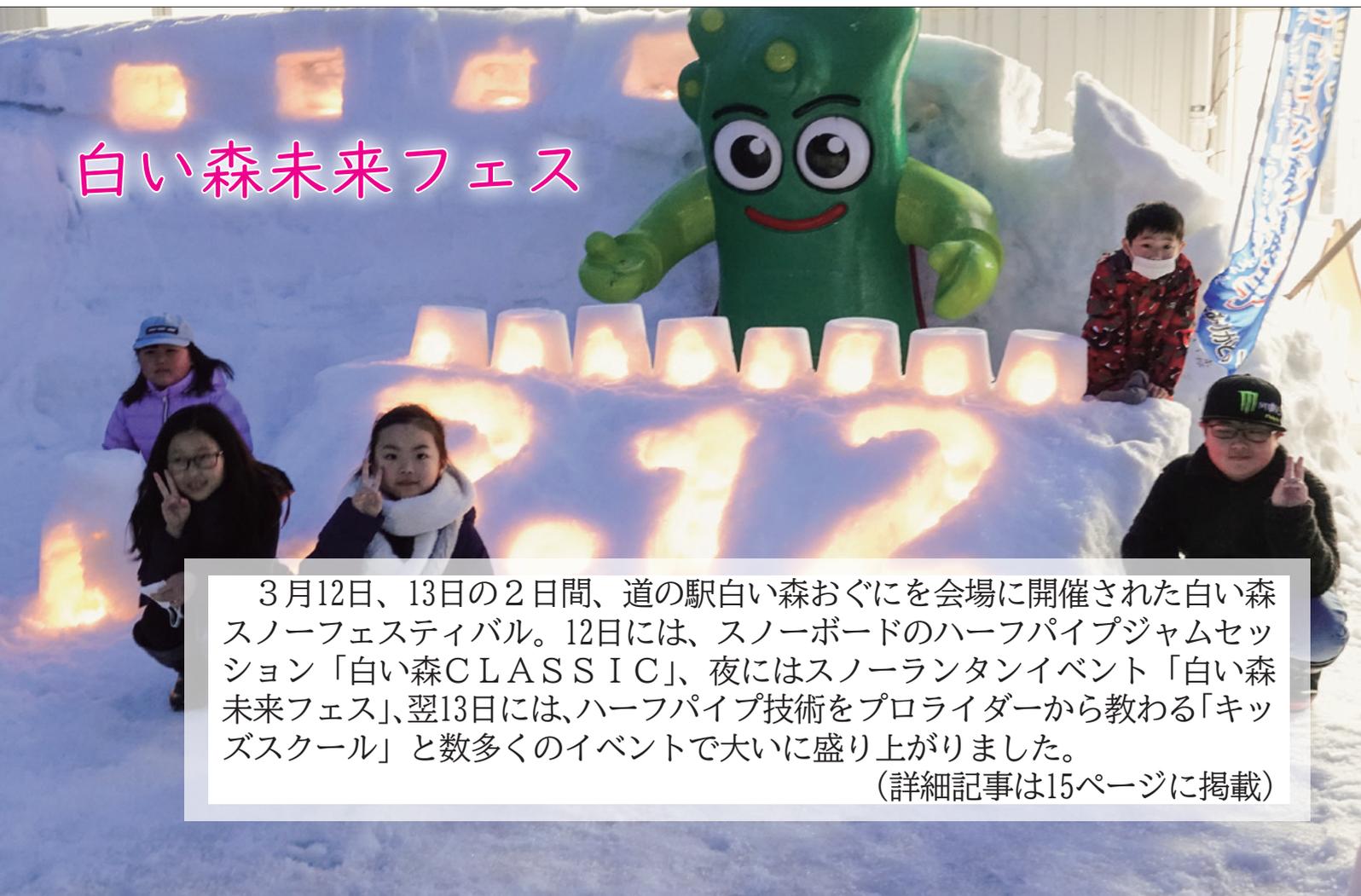


2022

4

No. 810

白い森未来フェス



3月12日、13日の2日間、道の駅白い森おぐにを会場に開催された白い森スノーフェスティバル。12日には、スノーボードのハーフパイプジャムセッション「白い森CLASSIC」、夜にはスノーランタンイベント「白い森未来フェス」、翌13日には、ハーフパイプ技術をプロライダーから教わる「キッズスクール」と数多くのイベントで大いに盛り上がりました。

(詳細記事は15ページに掲載)



テレワーク& ワーケーション拠点 KAMOS“Q” (カモスク) オープン!



ホームページはこちらから→

町では、外から町内への新しい人の流れを創出し、関係人口の創出拡大、持続可能な地域コミュニティの形成を図るため、酒蔵を改修してテレワークに対応した交流拠点を整備する民間主導の取り組みに対し支援してきました。

今回の整備事業を行ったのは、令和2年度の白い森おぐにビジネス創出塾を契機に昨年3月に設立された、一般社団法人YOKAMOS（井上昌樹代表理事）です。YOKAMOS（ヨカモ

ス）は、「発酵をとおして世を醸す」をコンセプトに、新しい価値やビジネスを生み出す事業を展開中です。

このたびオープンしたKAMOS“Q”（カモスク）は、テレワークやワーケーションの場であることはもちろん、町民の皆さんが発酵食などを楽しめる憩いの場でもあり、町外の人との交流をとおして新しい出会いと繋がり、ビジネスが生まれることも期待されます。

館内には高速Wi-Fiが整備され、1階には24席のワークスペースに加えて新しい本屋さんの形であるブックマンションも設けられています。2階は会員専用のワークスペースで、イベントやセミナーでの貸切利用も可能となっています。

小国町にとっては初の本格的テレワーク拠点です。新しい働き方を実現する場としても、多くのかたにご利用いただくことが望まれます。



修学のための資金を貸与します

1. 医師・看護師等を目指すかたへ

本町に住所を有するかたの子どもで、将来本町診療職員等として働く意思があり、下記に該当するかた

①医師資格取得のため学校教育法に規定する大学に在学し、医学、歯学、獣医学を専攻している。

…10万円以内/月（獣医師5万円以内/月）

②保健師、助産師または看護師資格取得のため、保健師助産師看護法に規定する文部科学大臣もしくは、厚生労働大臣または知事が指定した学校または養成所に在学している。

…5万円以内/月

※本町診療職員等として一定期間勤務した場合は、返還を免除します。

■問合先 総務課行政管理担当（☎62-2112）へ

2. 教員を目指すかたへ

本町に住所を有するかたの子どもで、将来本町の教育施設で働く意思があり、下記に該当するかた

○教員資格取得のため学校教育法に規定する大学に在籍している。

…5万円以内/月

■問合先 教育振興課学校教育担当（☎62-2141）へ

役場住民窓口前に キッズスペース設置



役場窓口で手続きをお待ちいただいている間、お子様がくつろげるキッズスペースを住民窓口前に設置しています。
ぜひ、ご利用ください。



3回目ワクチン接種済者

2,222人（3/24現在）

新型コロナワクチンの3回目接種について

■新型コロナワクチンの3回目接種について

新型コロナウイルスの感染拡大防止と重症化予防のため、3回目接種（追加接種）を実施しているところですが、現在昨年8月までに2回目を接種したかたへ3回目接種券を送付しました。昨年9月に2回目を接種したかたへの接種券は4月上旬に発送となります。予約開始日が同封する案内に記載されていますので、そちらをご覧ください、予約してください。

■5歳から11歳のかたのワクチン接種について

小国町立病院小児科での接種を予定しています。日程等が決まり次第、個別にご案内いたします。

■小国町に転入されたかたへ

3月以降に小国町に転入されたかたで、転入時に接種状況を申し出ていないかたは、接種券が届かない場合があります。3回目の接種券の発行を希望するかたは2回目までの接種がわかる書類（接種済証、接種記録書等）を健康福祉課までお持ち下さい。

※職域接種など小国町以外での接種を予定しているかたも接種券が必要です。接種の予定があるかたは健康福祉課までご連絡ください。接種券を発行いたします。

■問合先 健康福祉課地域保健担当（☎61-1000）へ

まちづくりの基本的考え方

令和4年度の予算編成にあたっては、地方自治体を取り巻く環境や国・県の政策動向を捉えながら、「白い森まるごとブランド構想」の基軸である

- 1 白い森の国を担う「人」づくり
- 2 白い森の魅力を磨く

「環境」づくり
3 白い森を舞台とする活き活きとした
「暮らし」づくり

4 持続可能な行財政運営
の4つの柱に沿って施策を展開することとし、施策の構築にあたっては、「先を見る目」、「投資のタイミング」、「町民の意見を聞くこと」という視点で精査し、限られた財源を有効に活用して、安全・安心な暮らしを実現していくことを重視して予算編成を行いました。

令和4年度 施政方針

小国町議会3月定例会が3月4日から15日まで開催され、令和4年度のまちづくり方針とその予算が決まりました。

令和4年度一般会計予算は61億1,500万円で、特別会計と企業会計を合わせた全会計予算総額は105億3,730万7千円となりました。

今月は令和4年度におけるまちづくりの取り組みを示す施政方針と予算の主な概要を紹介します。

令和4年度の主な事業

白い森を舞台とする生き活きとした 「暮らし」づくり

白い森みらい創生事業	2,868万1千円
白い森特産品ブランディング推進事業	500万円
農業水路等長寿命化・防災減災事業	1,000万円
道の駅機能拡充事業	703万4千円
観光施設管理運営事業	6,431万6千円
障害者自立支援給付事業	1億4,560万6千円
新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業	3,216万8千円

白い森の国を担う 「人」づくり

次期総合センター建設事業	2億5,034万3千円
保小中高一貫教育支援事業	3,809万5千円
高校生の地域留学推進のための高校魅力化支援事業	1,021万1千円
福祉医療給付事業	4,026万8千円
歴史民俗資料館整備事業	1,804万9千円

白い森の魅力を磨く 「環境」づくり

小国の住宅総合支援事業	1,570万円
有害鳥獣被害対策事業	479万7千円
町道橋補修事業	1億1,870万円
除雪事業	2億2,861万1千円
高齢者等暮らし応援事業	728万8千円

※次ページより施政方針の詳細について、紹介します。

白い森の国を担う

「人」

づくり

■子育ての負担軽減へ

妊娠・出産への負担軽減のため、定期妊婦健診費用や出産費用、出産一時金の差額相当額を助成し、経済的な負担軽減を図るほか、出産支援金の交付や赤ちゃんの名前入りバスタオルなどの出産祝い品を贈呈します。また、産後ケアの体制確保、18歳以下の医療費の無料化を継続します。

■おぐに保育園閉園に向けて

本年度末に閉園する、おぐに保育園の園児に対し、民間保育園に円滑に転園できるようにするための支援策を講じていきます。

■保小中高一貫教育の推進

保育園から高校までの15年



▲おぐにの子どもの日まつりを毎年開催

間を系統的、連続的に学習を積み上げながら、地域に根ざし、国際社会や情報化社会に順応した力を育て、児童生徒一人ひとりの力をより大きく伸ばす教育を展開します。

■地域留学受け入れ拡大

県立小国高校では、県外から入学する「白い森留学生」を7人、高校2年生の1年間を過ごす「地域みらい留学365」の留学生を5人受け入れます。留学生の下宿代や、通信費などの生活費の一部を

支援し、留学生保護者の負担軽減を図ります。

■移住定住の促進

都市に住む若者を中心に田園回帰の意識の高まりから、首都圏での移住イベントの開催や、ホームページ、SNSなどを活用した町や町内企業の情報発信など、移住、定住を促す施策を総合的に展開し、移住者の増加、企業の人財確保を図ります。また、移住されるかたで、新規に就業されるかた、子育て中の世帯および東京23区から移住されるかたにそれぞれ転居費用の一部を助成するほか、町内において結婚による新生活を営まれる世帯を支援します。

■次期総合センター実施設計へ

昨年度広く町民各層へ聞き取りを行い、建設場所の確定や基本設計の見直しなど予備調査を行いました。本年度は建設に向けた実施設計などを進めます。さらに、建設にあ



▲首都圏のかたと町の関わり方構築のために開催したサステイナブルデザインスクール

たり、国の交付金を活用することとし、その前提となる中心市街地活性化基本計画の策定に取り組みます。

■歴史民俗資料館の整備

町内の歴史民俗資料や学校郷土資料を継承していくため、昨年度策定した「歴史民俗資料館整備活用基本方針」に基づき、旧伊佐領小学校を歴史民俗資料館として計画的に整備することとし、本年度は資料の移設や収蔵資料を長期的に管理する設備などを整備します。

「環境」づくり

白い森の魅力を磨く

づくり

の開催や有害鳥獣の進入を抑制する緩衝帯の整備など、地域ぐるみで鳥獣被害対策を実施して効果を検証し、他地域への拡大方策の検討を進めます。

■住宅総合支援事業の継続

断熱化やバリアフリー化、コロナ禍における新生活様式への対応などのリフォームや、耐震診断・耐震改修のほか、ペレットストーブなどの購入、合併処理浄化槽の設置など、これらに要する経費の一部を継続して支援します。

■有害鳥獣被害対策の推進

深刻化する有害鳥獣被害対策として、鳥獣被害対策実施隊によるニホンザルやイノシシの捕獲を行うとともに、電気柵の設置費や狩猟免許取得費を助成し、農作物被害の軽減と田畑を保全していく対策を支援します。また、昨年度に引き続き、市野沢地区をモデル地区に設定して、講習会

■消防活動の安全確保

叶水地区に小型動力ポンプ付き積載車を整備するほか、消防団員の確保と活動環境の向上を図るため、災害時等の出勤報酬を引き上げるとともに、消防団用防火服を整備し、消火活動における安全確保と機能向上を図ります。

■新山道の建設促進

新潟山形南部連絡道路の整備については「小国道路」が事業化され、道路・構造物設計や用地調査および用地補償が実施されるなど、大きく前進しました。今後も建設促進期成同盟会を中心に、関係機関団体と連携し、事業促進に向けて活動を展開します。



▲想定される小国道路のルート（道路イメージ）

■道路の安全確保

町道の改良として、長者原内川線、西田沢頭線の整備を継続し、新たに西長崎線の改良に着手します。また、国土強靱化計画に基づき、金目橋および湯の瀬橋（小玉川地内）の長寿命化を進めます。

■効率的な町営バスの運行

公共交通の確保として、町営バス車両1台をマイクロバスからワゴンタイプに更新し効率化を図るほか、町営バス3路線、デマンドタクシー4

路線の運行を確保します。なお、運行は、より利便性の高いダイヤ編成に見直します。

■持続可能な水道事業の実現課題として、人口減少による長期的な水需要の減少に加えて、施設老朽化に伴う、施設更新が必要となっています。このため、持続可能な水道事業の実現を目指し、中長期的な視点に立ち、既存の資産を総合的に管理していくとともに、規模の縮小や長寿命化を図り、効率的な更新投資を進めます。



▲導入されたワゴンタイプの町営バス



▲オープン初日ににぎわう
白い森おぐにサテライトアンテナショップ

「暮らしを舞台とする 暮らした づくり」

■まるごとブランド構想の推進
白い森まるごとブランド構想の実現に向け、食や健康、環境を切り口として、都市と地方の住民がともに学ぶ事業や積極的なプロモーションを展開し、「白い森おぐに」の認知度向上と関係人口の創出に

取り組みます。また、白い森ビジネス創出塾を発展させ、稼ぐ力の醸成、白い森ブランドとなる商品やサービスに磨きを掛けるとともに、これまでのビジネスプランの事業化に向けた取り組みの支援や、町内事業者が地域外の事業者等とともに新たなビジネスプランを構築するための場を創出し、地域経済の好循環を目指します。

■農地の有効活用へ
農地の集約や集積化を行い、担い手農家への農地の団地化、有効活用を促進するため、農地中間管理機構による円滑な農地の貸借を進めます。また、農家の所得向上と農地の適正な維持管理を図るため、ワラビの新規作付けから収穫までの3年間、管理費の一部を支援します。

■ワーケーション施設の整備
働きながら休暇を取るワー

ケーションの受入体制を飯豊梅花皮荘山崎屋に構築し、リモートワークに必要なWi-Fi環境などを整備します。

■安定的な病院経営
町立病院の経営については、人口減少による受診者の減少に加えて、長期化するコロナ禍の影響による受診控えなどから、厳しい状況が続いています。しかしながら、町民の命と健康を守る一次医療機関として、その機能を充分に発揮出来るよう努めます。

■介護人材不足解消へ
介護サービスを担う人材不足への対応として、町内在住者の介護技術の習得を促進するため、社会福祉協議会と連携し、介護職員初任者研修を行います。なお、同研修を小国高校生、移住者が受講する場合は15万円、その他のかたは8万円の受講料を支援します。さらに、介護福祉士の資

格取得の際に必要な実務者研修の受講料に対する支援を行います。

■人工透析患者の負担軽減
町外に通院している人工透析患者の送迎事業に取り組みとともに、送迎事業を利用されないかたへの交通費を助成し、引き続き、身体的・経済的負担を軽減します。

■障害者の自立支援
障がいを持つかたが、安心して自立した生活が送れるよ



▲東部地区サロンの活動



▲新社会人に就職お祝い金を贈呈

う、障がいの程度や状況に応じて、移動支援や活動支援補装具の給付を行うほか、特別支援学校及び作業所への通学、通所を支援します。

■町内企業の雇用安定

町内企業に就職した新社会人を対象とした就職お祝い金を継続して開催し、町内企業の雇用の安定と定住促進を図ります。また、本町で働く外国人技能実習生の交流の場を設け、本町に親しみやすい環境づくりに取り組みます。

持続可能な 行財政運営

■民間人材の活用

林野庁との人事交流の仕組みを継続するほか、一般財団法人地域活性化センターに1人、新たに、山形県庁へ1人、職員を派遣します。さらに、民間企業で培った専門知識などを生かして、本町の「白い森まるごとブランド構想」を推進するため、内閣府の地方創生人材支援制度を活用し、民間企業から1人を受け入れます。

■ふるさと納税の効果的な活用

ふるさと納税は、昨年度1億6千万円を超える寄附を受けました。本町を応援する多様な人々の思いが反映された施策推進のため、これを原資とする「白い森ふるさと応援基金」を積み増しし、各種

の地域活性化に資する事業に活用します。

■自治体DX(※)の推進

国が策定した自治体DX推進計画の重点取組事項に位置づけられている、自治体業務システムの標準化に向けた取り組みを展開します。

※DX(デジタル・トランスフォーメーション)＝従来アナログで運用していた業務などをデジタル化することで、さまざまな機関や企業、地域住民が有効活用し社会的な課題解決につなげる取り組み。



▲横根スキー場維持管理費の一部にも白い森ふるさと応援基金を活用

むすびに

今年、昭和17年に、小国本村が小国町として町制を施行してから80年の節目を迎えます。日本電興株式会社が長者原に水力発電所を興し、操業を開始して以来、急激に人口や世帯数が増加し、村から町へと変貌を遂げました。東北地方の典型的な農村であった小国が、工業の町として生まれ変わり、人々の日常も大きく変化した時でありました。以来、町民が努力と工夫を重ねながら、その日常性を進化させてきています。

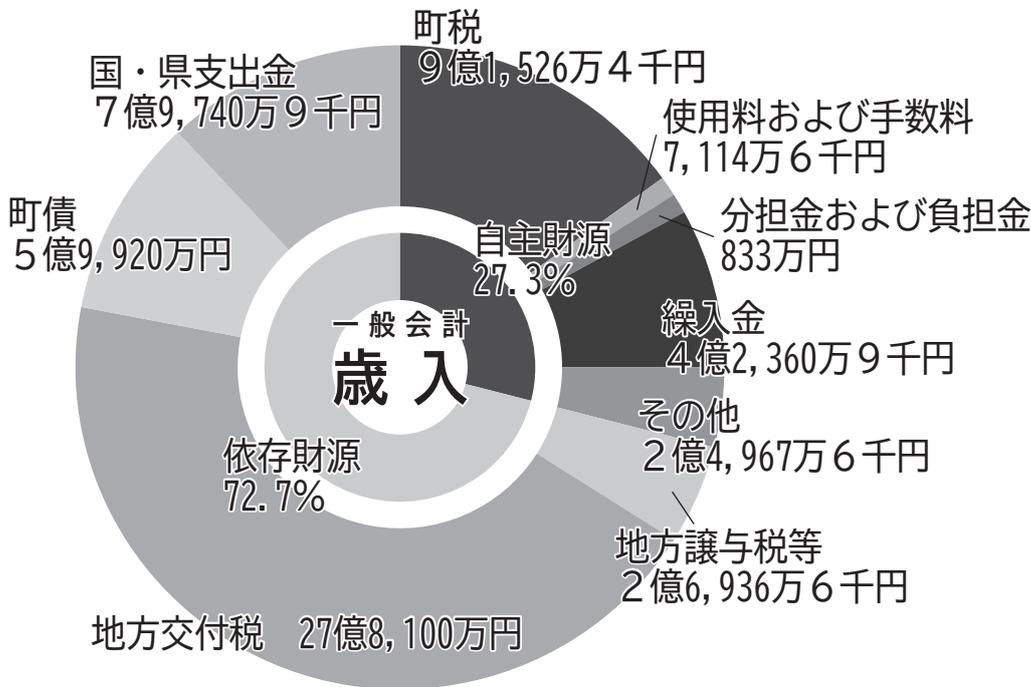
いま、一日も早いコロナ禍の収束を願い、その先にある新しい日常性の創造を町民の皆さんとともに取り組んでまいります。

※施政方針の全文については、町ホームページでご覧になることができます。

令和4年度予算

一般会計予算 61億1,500万円

昨年度から8,700万円増額



令和4年度予算が、小国町議会3月定例会で可決されました。一般会計予算は61億1,500万円。昨年度より8,700万円増額しました。一般会計と特別会計、企業会計をあわせた町予算の総額は、105億3,730万7千円。昨年度に比べ6,411万8千円(0.6%)の増額となりました。

【令和4年度各会計予算】

■一般会計	61億1,500万円	(1.4%)
■特別会計		
簡易水道事業	2,931万円	(▲12.8%)
国民健康保険事業	6億7,182万円	(▲1.9%)
部落有財産	9,868万円	(▲2.2%)
下水道事業	3億8,276万円	(4.4%)
訪問看護	7,811万円	(▲8.0%)
介護保険	10億9,170万円	(▲0.3%)
後期高齢者医療	1億2,118万円	(9.5%)

■企業会計		
病院事業	12億5,170万9千円	(0.3%)
老人保健施設事業	3億9,853万9千円	(2.0%)
水道事業	1億6,529万5千円	(▲9.4%)
工業用水道事業	1億3,320万4千円	(▲9.6%)

令和4年度各会計予算総額

105億3,730万円7千円
(前年度比0.6%増)

新年度予算概要

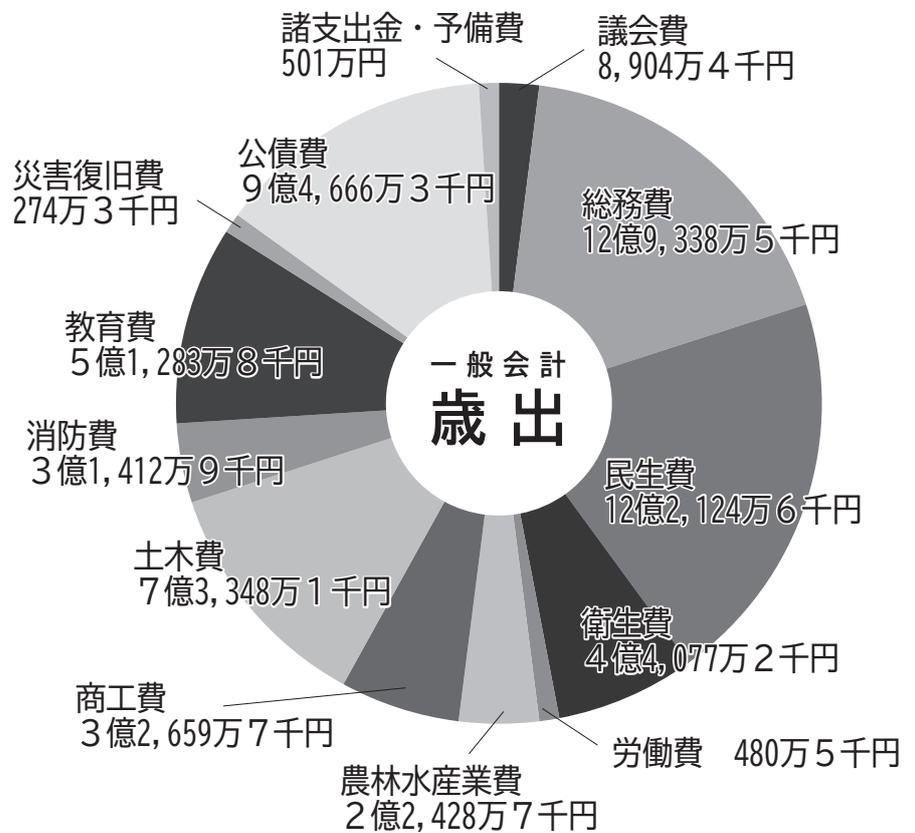
令和4年度一般会計予算総額は61億1500万円でおぐに開発総合センターの老朽化に伴う次期総合センター建設事業などにより前年度比1.4%、8700万円の増額となりました。

歳入では、町税全体において新型コロナウイルス感染症の影響による消費の低迷や資材高騰などで、厳しさを増す地域経済の状況を背景に、前年度比0.1%減の9億1526万4千円となっています。国から交付される地方交付税は前年度比3.8%増、また、町債では前年度比4.1%減の5億9920万円となりました。

歳出では、総務費において次期総合センターの建設に向け、詳細測量調査や実施設計などの経費等により前年度比22.1%増、商工費では、「や

まがたアルカディア観光局」と、町内の観光関係者で組織する連携チームが計画しているアフターコロナを見据えた旅行商品の造成の取り組みを支援し、新たな観光需要の創出を図ります。そのほか、飯豊梅花皮荘山崎屋にリモートワークと休暇を組み合わせた「ワーケーション」の環境

を整備する経費など新規事業があるものの、日本重化学工業(株)山形事業所小国工場へ支援する環境型雇用創出産業立地推進事業の事業完了等により前年度比16.4%の減となっています。また、消防費では、消防団員の出勤報酬を引き上げる経費等により前年度比13.7%の増となりました。



語句の説明

【歳入】

- 町税 住民の皆さんや法人などに納めていただく税金(町民税・固定資産税・たばこ税・軽自動車税など)
- 地方交付税 市町村の財政状況に応じて、国から交付されるお金。自治体間の財政力の不均衡をなくし、一定の行政サービスを行うことができるよう国税(所得税・酒税・消費税など)として集められた税金のうち、一定割合を再分配したもの
- 町債 町の借入金(借金)
- 国・県支出金 市町村が行う特定の事業に対して、国や県から交付されるお金

【歳出】

- 総務費 行政事務などに関する経費
- 民生費 障がい者福祉、高齢者福祉、子育て支援などの経費
- 衛生費 生活環境の保全、疾病予防、健康増進などの経費
- 農林水産業費 農林水産業の振興・支援や、基盤整備などに関する経費
- 商工費 商工業や観光振興のための経費
- 土木費 道路や河川を整備・管理するための経費
- 教育費 教育や生涯学習、文化・スポーツなどの振興を図るための経費
- 公債費 事業を行うため借りた町債の元金・利息などを支払う経費

未来に伝えたい

白い森おぐぐにの

文化遺産

その12 小国山城

前号で紹介した大宮の産屋。そこから後ろを振り返ると、目の前に横根の山なみが広がっています。そのなかでもひととき目立つのが横根スキー場に隣接する片岩の小高い頂です。その東側は断崖となっており、土砂崩れ防止のためモルタルなどが吹付けられています。

ここは通称「お城山」と呼ばれ、中世に山城が築かれたとされる場所です。その築城年代は不詳ですが、江戸時代にまとめられた米沢藩の地誌書『米沢里人談』では、平安時代後期に、奥州藤原氏初代当主、清衡（きよひら）の子、清綱が、要衝警備のため息子の俊衡（としひら）をこの山城に配したと伝えられます。俊衡は、比爪（あるいは樋爪、ひづめ）館（現在の岩手県紫波町）を居館としたため「樋

爪俊衡」という名前で広く知られています。同書には「小国太郎俊衡」と記されています。

時は下って南北朝時代の天授6（1380）年、伊達家8代当主、宗遠（むねとお）は、置賜地方（長井荘）を治めていた長井氏を攻め、一帯を伊達氏の所領としました。小国郷もその支配下におかれ、初めは粟生田（あわうだ）氏、次いで上郡山氏という伊達氏の家臣が当地を領知することとなりました。

ただし、小国山城は、これらの武将たちにとって有事の際に立て籠もって応戦する「詰の城」であり、平時は山麓に居館を構えていたようです。そのような館の一つが、山城の東麓、腰巻と呼ばれる場所にあったとされる小坂館です。『小国の文化財』（小国町誌編集委員会、

1999年）では、粟生田氏が去った後、「代わって享徳のころ（1452〜54）上郡山盛為が小国の地を与えられ、小坂館を構築した」とあります。

現在、この小坂館の遺構は姿をとどめておらず、構造など詳細はほとんどよく分かっていません。一方、山城に関しては、堀切（尾根を横切るようにして掘られた壕）や曲輪（くるわ、地面を削り平らに造成した砦）などの遺構が部分的に残っています。小国山城は横根山から西方へ延びる尾根上に位置しており、その主郭があったであろう頂点部から北東方向と南東方向へと尾根が分岐しています。そのうち前者は短く急峻なため進入が難しく、小国山城は後者の方向からの攻撃に備えるための砦であったと考えられています（『小国の文化財』による）。

統一的な政権がまだなく、有力武将たちが群雄割拠していた戦国時代。家督をめぐり父子や兄弟同士が争うこともあり、小国郷の武士たちもそのような様々な戦に巻き込まれました。



▲大宮の産屋から見た小国山城跡

そんな戦乱の世のなか、上郡山氏により小坂館に代わり新たに小国城が築かれました。そして、以降、小国が政治・経済の中心地として発展していきました。小国山城は、そうした現在の小国のもととなる基礎を築いた戦国武士たちの様相を窺い知ることのできる本町で数少ない史跡の一つなのです。

（教育委員会生涯学習室）

令和4年小国町議会

第3回定例会

令和4年第3回定例会が3月4日から15日まで開催されました。令和3年度一般会計補正予算や令和4年度各会計予算、条例改正などが審議され、原案のとおり可決されました。主な内容は次のとおりです。

【第3回定例会】

一般会計に

7678万4千円を追加

ふるさと納税の寄附見込額に基づき、白い森ふるさと応援基金積立金を追加するほか、道路除排雪に要する経費の追加や西置賜行政組合消防費負担金および地方交付税の追加交付に基づく減債基金の積み立て等に加え、決算見込みに基づく不要額の減額などを行いました。補正額は7678万4千円の増額となり、補正後の予算総額は77億6159万5千円となりました。

■住民基本台帳システム改修

令和3年5月に改正された住民基本台帳法により、マイナンバーカード所持者の転出・転入手続の

時間短縮化、ワンストップ化が図られることに伴い、システム改修費を追加しました。

■保育士等の収入を引き上げ

国において「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」として、「保育士等を対象に、賃上げ効果が継続される取り組みを行うことを前提として、収入を3%程度引き上げるための措置を、令和4年2月から実施する」とされたことから、町内の民間保育施設で保育士等の処遇改善を行うための経費を支援することとしました。

押印の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例の設定について

国において、行政手続きの簡素化および住民の利便性の向上を図ることや、新型コロナウイルス感染症への対策の一環として進められている押印の見直しについて、本町でも国のマニュアルに基づき、押印の見直し作業を行い、該当する条例における押印を廃止することとし、所要の改正を行いました。

小国町修学資金貸与条例の一部を改正する条例の制定について

将来において、町または町長の指定する機関の診療職員として勤務しようとする者に対し、修学に必要な資金を貸与する修学資金について、社会情勢の変化や学費等の増加に対応するため、貸与額を増額し、返還の猶予期間を拡充することで、本町における診療職員を確保していくため、所要の改正を行いました。

小国町奨学資金貸与条例の一部を改正する条例の制定について

本町の教育施設等に貢献し得る人材を、育成することを目的に貸与する奨学資金について、国公立大学の年間学費相当額まで貸与額を増額し、本町の小中学校の教員を確保していくため、所要の改正を行いました。

小国町病後児保育室設置条例の一部を改正する条例の制定について

小国町病後児保育室の対象児童について、対象年齢と住所要件を拡充し、保護者の子育ておよび就労の両立を支援することとし、所要の改正を行いました。

固定資産税課税台帳の閲覧 土地家屋価格等帳簿の縦覧

令和4年度固定資産課税台帳の閲覧と、土地家屋価格等帳簿の縦覧を行います。この機会に所有する資産をご確認ください。

- 期間 4月1日(金)～5月31日(火) (土/日/祝除く)
- 受付時間 8時30分～17時15分
- 場所 小国町役場 町民税務課
- 問合先 町民税務課税政管理室 (☎62-2403) へ



りんごDAY

旧伊佐領小学校で雪遊び

様々な雪遊びを体験するりんごDAY（主催：地域おこし協力隊中原凌隊員）が3月20日に旧伊佐領小学校で開催されました。会場には、小学生や保護者約30人が集まり、靴を固定しないスノーボードのような板で斜面を滑る雪板体験や雪上サッカーなどが行われました。参加した子どもたちは、まだまだ残る大量の雪を存分に楽しみました。雪遊びができるのもあとわずかです。



地域住民と民国連携の森づくりを目指して

小国町森林整備推進協定締結

小国町森林組合、旭林業(株)、(公財)やまがた森林と緑の推進機構、置賜森林管理署、小国町の5者による小国町森林整備推進協定の締結式が3月1日に置賜森林管理署で行われました。この協定は、町内の一部の地区で実施してきた民有林と国有林の共同整備や、民有林の集約化を進める「森林共同施業団地」を町内各所に設けて、町の森林施業の活性化を図ります。今後、置賜管内のモデルケースとなることを目指します。



ICT夢コンテスト2021 優良賞受賞

オンライン国際交流で対話力向上へ



学校現場におけるICTの活用事例を全国から募った「ICT夢コンテスト」(主催：一般社団法人 日本教育情報化振興会)で、小国高校や町内小中学校で行っているコーディネーターの取り組みが優良賞を受賞しました。この取り組みは、ビデオ通話アプリを使用して、本町の学校と海外の学校が繋がり、対話することで各国への興味・関心を深め、生徒が主体的に英語を学ぶことを目的としています。こうしたICTの活用方法が有効だと認められ、このたびの受賞となりました。

県内初のチャレンジの初年度が終了

マルチワーク事業協同組合活動報告会



3月3日、おぐに開発総合センターでおぐにマルチワーク事業協同組合(吉田悠斗代表理事)の活動報告会が行われました。県内初の取り組みとなる本組合の活動報告会は、オンライン配信も行われ、全国各地から事業開始の参考にしたと参加者が集まりました。受入事業者を代表してペレットマンの高橋安以子代表社員が「受け入れる側にマルチワーカーを適材適所に配置するようなスキルが必要です。」と受け入れた感想を話してくださいました。同組合では、現在3人が登録し、新たに2人を募集しています。

スノーボードジャムセッション・スノーボードキッズスクール・白い森未来フェス

白い森スノーフェスティバル開催！白い森おぐにが熱く盛り上がる

四季の彩りゆたかな小国をイベントで盛り上げようと、道の駅四季のイベント実行委員会が主催した白い森スノーフェスティバルが3月12日～13日に開催されました。12日には白い森CLASSICでハーフパイプのジャムセッションが行われ、小学生やプロライダーを含む出場者が鮮やかな技を披露しました。12日夜には、「小国☆地域みらい塾」の1期生が中心となった、冬の小国に明かりを灯す第2回白い森未来フェスが開催されました。スノーキャンドルや雪像づくりには、道の駅に会場した子どもたちも参加し、盛り上げました。翌13日には、ハーフパイプコースでスノーボードキッズスクールが開講され、プロライダーの技をしっかりと学ぼうと、参加した小中学生は何度もハーフパイプにチャレンジしました。



▲舟山京さん（小国中2年＝大会当時）が中学生の部で優勝

▶多くの子どもたちが雪像づくりに参加



◀キッズスクールではプロライダーから熱い指導がされました

「皆さま、ありがとうございました！」

地域おこし協力隊 いわい 岩井 たくま 拓磨

協力隊通信

series 72

この度3年間の地域おこし協力隊の任期を終え、小国町に定住することとなりました。緑のふるさと協力隊から数えると、小国で4年間の経験をさせてもらいました。たくさんのかたがたにお世話になり、多くのことを教えてもらいました。任期後については、新型コロナウイルス感染症の流行前までは、地元の和歌山に帰ることも考えていましたが、今まで通りに生活できなくなり、自分のこれからについて考える時間が多くなりました。その結果、4年間生活した場所から地元へ帰ることがもったいなく感じるようになりました。和歌山に住んでいた時より人とのつながりが強く、自分の就職について相談すると、多くのかたが応援してくださり、自分はたくさんのかたに支えられていることを強く実感しました。人のやさしさ、これが私にとって小国の最大の魅力です。本当に皆さんありがとうございました！4月からはクアーズテック株式会社に入社することとなりましたので、これからもどうかよろしくお願いいたします！



▲北部地区ワナゲ大会 3位獲りました！

令和4年度小国町住宅リフォーム総合支援事業費補助金について

- 補助要件 ①「新・生活様式対応」、「減災・部分補強」、「寒さ対策・断熱化」、「バリアフリー化」、「克雪化」、「県産木材使用」のいずれか1つ以上を含む工事で、かつ町の定める基準点を満たすこと。②町内に住所を有するかたで、自身が町内に所有する住宅等にかかる工事であること。③工事施工にあたり、県内業者と請負契約を締結すること。④工事に要する費用が10万円以上であること。⑤令和5年1月末までに完了する工事であること。⑥町税等に滞納がないこと。⑦申請前に工事を着工していないこと。
- 補助金額 ◎一般世帯：リフォーム工事費の10%（上限12万円）。町内業者と契約する場合は、工事費の20%（上限24万円）。
◎一定の条件を満たす「新婚」、「移住」、「子育て」世帯等：リフォーム工事費の15%（上限15万円）。町内業者と契約する場合は、工事費の30%（上限30万円）
- 申込み 補助金交付申請書に必要な書類を添えて、地域整備課に提出してください。申請書は地域整備課にあります。
- 募集開始 4月15日(金)～
- その他 受付は申請順で、町の予算の範囲内で助成します。
- 問合せ先 地域整備課建設管理室（☎62-2431）へ



「自生山菜」の放射性物質に注意

これから「自生山菜」の発生時期を迎えるにあたり、次の事項に留意してください。

- ①「自生山菜」は、生育環境の違いにより放射性物質の濃度にばらつきがあるため、出荷前に検査を徹底し、安全性を確認してから出荷してください。なお、出荷には、「インターネット等による通信販売」も含まれますので、注意してください。
- ②特に「コシアブラ」は、過去に基準値を超える放射性物質が検出されていますので自主検査を徹底し、安全性を確認してください。

- 問合せ先
農林水産部森林ノミクス推進課木材産業振興担当（☎023-630-2525）または置賜総合支庁森林整備課普及担当（☎0238-26-6065）へ

合併処理浄化槽の設置補助

- 対象 町公共下水道認可区域外の住宅で、汲み取り便槽または単独処理浄化槽を合併処理浄化槽に替える工事をする場合。
- 補助金額 5人槽 40万円
6～7人槽 50万円
※単独処理浄化槽からの切り替えの場合、配管工事費を対象に30万円（上限）を加算します。また、リフォーム（新築以外）で設置する場合は県の上乗せ補助があります。
- 5人槽 20万8千円（上限）
6～7人槽 25万9千円（上限）
- その他 新築で合併処理浄化槽を設置する場合は補助要件があるので、お問い合わせください。
- 問合せ先
地域整備課建設管理室（☎62-2431）へ

有料広告募集中 「広報おぐに」に広告を載せてみませんか

毎月1回（3700部、1日発行）

■サイズ

- 1種 横 8.7cm×縦 5.3cm
- 2種 横17.85cm×縦 5.3cm ※このサイズは2種広告になります。
- 3種 横17.85cm×縦11.5cm

■金額（1回あたり） 1種 6,000円 2種 10,000円 3種 30,000円

※掲載に関する詳細については、お問い合わせください。

■問合せ先 総合政策課政策企画担当（☎62-2264）へ

気になったかたはこちらをチェック!!



危険物取扱者・消防設備士の 免状は更新が必要です

危険物取扱者・消防設備士の免状は消防法令で、免状交付の日から10年以内ごとに写真の書換えをしなければならない規定となっています。

免状の写真下欄記載の期限を確認の上、速やかに手続きをしてください。

■写真の書換えとは

新しく写真を印刷した免状に取り換えることです。

■申請書

各消防本部、県庁消防救急課、県総合支庁、(一財)消防試験研究センター山形県支部で受け取れます。

■問合せ先

(一社)消防試験研究センター山形県支部
(☎023-631-0761) へ



春の火災予防運動



「おうち時間 家族で点検 火の始末」

春の火災予防運動を4月9日(土)~22日(金)までの14日間実施します。期間中、午前7時と午後7時に防災ラジオにより、注意喚起が放送されます。また、10日(日)14時~16時まで消防団の消防ポンプ自動車火災予防のため町内防火パレードを実施します。

空気が乾燥し、火災が発生しやすいため、火の取り扱いには十分注意しましょう。また、住宅用火災警報器は火災を早期発見し、火災による死傷者を減らします。動作確認、交換時期の確認をしましょう。

■問合せ先 町民税務課 (☎62-2260) または
消防署小国分署 (☎62-2154) へ

愛犬に狂犬病予防注射を！

実施日	会場	時間
4月18日(月)	叶水基幹集落センター前	9:30~9:45
	沼沢駅前	10:05~10:15
	白子沢警鐘台前	10:20~10:25
	伊佐領会館前	10:45~10:55
	種沢ふれあいセンター	11:05~11:20
	宮の森会館前	13:30~14:00
	多目的屋内運動場「あいべ」駐車場	14:10~15:00
4月19日(火)	旧沖庭小学校前	9:30~9:55
	むつみ会館前	10:00~10:10
	旧あさひ保育園前	10:25~10:35
	りふれ駐車場	10:45~11:00
	玉川高齢者コミュニティセンター前	13:10~13:20
	樽口観光わらび園管理所	13:40~13:50
	小国町役場東側駐車場	14:30~15:30

犬を飼っているかたへ~マナーを守りましょう~

- ・放し飼いは禁止されています。つないで飼うようにしてください。
- ・散歩は必ず引き綱を付けて下さい。
- ・犬の散歩をするときは、糞を必ず持ち帰りましょう。

犬を飼う場合、飼い主のかたは愛犬に、年に一度必ず狂犬病の予防注射を受けさせる義務があります。狂犬病に対しては現在のところ有効な治療法がありませんので、予防注射は必ず受けてください。

■持参するもの

集合注射料金3,300円(釣銭なし)、予防注射の問診表(記載の上)

■犬の登録について

犬を飼う場合は、町への登録が必要です。住所変更や死亡等があった場合は、事前に手続きをしてください。

■注意点

注射の際、犬が暴れたり他の犬や人にけがをさせてしまうことも考えられます。しっかり抑えることができるかが連れてきてください。

■問合せ先

町民税務課町民生活担当
(☎62-2260) へ



病後児保育室「にこにこ」の対象者を拡充しました

病後児保育室「にこにこ」では、病気の回復期にあり、集団または家庭での保育が困難な子どもを健康管理センター内の専用保育室で、看護師と保育士が連携してお預かりしています。

4月から利用できる対象児童を下記のとおり拡充します。

改正前	改正後
本町に住所を有する児童	本町に住所を有する児童または保護者が町内の事業所等に勤務している児童
病後児保育室を利用する日において、満1歳から小学校就学前までの児童	病後児保育室を利用する日において、満1歳から小学校3年生までの児童

※熱は下がったが、大事をとって保育園や学校を休ませたい。怪我をして保育園や学校を数日休まなければいけないときに保護者が休めない場合などにご利用ください。

■預かり期間 (月)～(金) (祝、年末年始を除く) 8:00～18:00

■利用料金 1日あたり…2,000円/1人
5時間以内…1,000円/1人

※詳細は町ホームページをご確認ください。

■問合せ先 健康福祉課福祉担当 (☎61-1000) へ



令和4年度 乳幼児健診の日程

乳幼児健診は、健康管理センターで行います。

当日は、母子健康手帳を持参してください。

◇問合せ先 健康管理センター (☎61-1000) へ

■3・4カ月児健診 受付13:10～13:20

■9・10カ月児健診 受付13:00～13:10

月日	対象となるお子さん	
	3・4カ月児	9・10カ月児
5月6日(金)	R3年12月、R4年1月生まれ	R3年6月、7月生まれ
7月8日(金)	R4年2月、3月生まれ	8月、9月生まれ
9月2日(金)	4月、5月生まれ	10月、11月生まれ
11月4日(金)	6月、7月生まれ	12月、R4年1月生まれ
1月6日(金)	8月、9月生まれ	2月、3月生まれ
3月3日(金)	10月、11月生まれ	4月、5月生まれ

■フッ素塗布 1歳6カ月児健診、2歳児歯科健診で希望されるかたに行います。そのほか、おおよそ2歳、3歳になるかたにもフッ素塗布を行っていますので、町ホームページをご確認ください。

■1歳6カ月児健診 受付12:30～13:00

月日	対象となるお子さん
6月3日(金)	R2年9月、10月、11月、12月
10月7日(金)	R3年1月、2月、3月、4月生まれ
2月3日(金)	R3年5月、6月、7月、8月生まれ

■2歳児歯科健診 受付13:00～13:15

月日	対象となるお子さん
6月29日(水)	R1年9月、10月、11月、12月生まれ
10月19日(水)	R2年1月、2月、3月、4月生まれ
2月15日(水)	R2年5月、6月、7月、8月生まれ

■3歳児健診 受付12:30～13:00

月日	対象となるお子さん
4月8日(金)	H30年8月、9月、10月、11月生まれ
8月5日(金)	H30年12月、H31年1月、2月、3月生まれ
12月9日(金)	H31年4月、R1年5月、6月、7月生まれ

ファミリー・サポート・センター会員募集

子育てのお手伝いをしてほしい人（利用会員）と子育てのお手伝いをしたい人（協力会員）が会員登録し、子育ての相互援助を行うファミリー・サポート・センターを利用してみませんか。

■援助内容

保育施設等の開始時間前や終了後の預かり、保育施設や習い事への送迎、保護者の臨時出勤や冠婚葬祭、学校行事の際の預かり、保護者がリフレッシュしたいときなどに利用できます。

■会員資格（本町に住所を有するかた）

- 利用会員 小学校6年生以下の子どもの保護者
- 協力会員 どなたでも
- 両方会員 両会員を兼ねることもできます。

■利用料金

- 平日 7:00～19:00 600円／1時間
それ以外 700円／1時間
- 土(日)祝 全ての時間 800円／1時間

■申込方法

健康福祉課で会員登録手続きを行ってください。

■申込・問合せ先

健康福祉課福祉担当（☎61-1000）へ

国民健康保険の届出は14日以内に

職場の健康保険に加入したときや抜けたときは、国民健康保険の資格を取得・喪失する手続きが必要ですので、14日以内に届出を行ってください。

職場の健康保険に加入した後に国民健康保険の保険証で医療機関等を受診した場合は、国民健康保険が負担した医療費を返還していただく場合があります。ご注意ください。

■問合せ先

町民税務課国保医療担当（☎62-2261）へ

町営バス北部線のダイヤ改正

4月1日から町営バス北部線の時刻が変わります。

■変更点

朝の町立病院前行きの便が新たに幸町と小学校前を經由し、時刻が変わります。

詳細は、配布した時刻表をご覧ください。

■問合せ先

町民税務課町民生活担当（☎62-2260）へ

児童手当等制度のご案内

次の手当等には、それぞれ所得制限が設けられています。対象となるかたは、申請が必要です。

	児童手当	母子家庭等修学費	児童扶養手当	特別児童扶養手当
対象者	出生から中学校修了前の児童を養育しているかた。 令和4年6月から所得制限が設けられます。(扶養親族等の人数が3人の場合、年収1,200万相当)	母子・父子家庭で児童を養育しているかた。父母ともにいない場合は、親に代わって児童を養育しているかた。	母子・父子家庭で児童を養育しているかた。父母ともにいない場合は児童を養育しているかた。父・母が重度の障がい者である家庭。	身体、知的、精神に障がいのある児童を在宅で養育しているかた（疾病による内部障がいも該当する場合があります）。
手当月額 R3.4現在	3歳未満15,000円 3歳以上小学校修了前 第1子・2子 10,000円 第3子以降 15,000円 中学生 一律 10,000円 特例給付一律 5,000円	小学生 2,000円 中学生 3,000円 高校生 3,500円	43,070～10,160円 加算額 2人目10,170～5,090円 3人目以降6,100～3,050円 ※所得、認定経過年数に応じて手当額が変更になります。	1級 52,400円 2級 34,900円
支給期間	出生から中学校修了まで(申請月の翌月から支給)	児童が小学校入学から満18歳に到達する年度末まで(在学期間中のみ)	児童が満18歳に到達する年度末まで(一定の障がいがある場合は20歳未満)	児童が満20歳に到達する月まで
支給月	6・10・2月	9・3月	5・7・9・11・1・3月	4・8・12月
現況届等	なし	毎年8月に現況届提出	毎年8月に現況届提出	毎年8月に所得状況届提出

■問合せ先 健康福祉課（☎61-1000）へ

4月の保健カレンダー

4月の健診については、18ページに掲載している乳幼児健診の日程をご覧ください。

総合センター 図書室から

～新着図書～
 休館日 毎週月曜日・祝日

◇本当の「心の強さ」って何だろう? 齋藤 孝
 ◇自分をたいせつにする本 服部 みれい
 ◇少女と少年と海の世界 クリス・ヴィック
 ◇希望の一滴 中村 哲
 ◇孫育ての新常識 小屋野 恵

子育て支援センターから

■4月の広場日程

広場名称	曜日	時間	申込
なかよし広場	月～金	9:30～11:30・13:00～15:30 (水・金は午後のみ・4/5(火)開始)	不要

※コロナ感染状況により中止になる場合があります。

■対象者 就学前のお子さんとお家のかた

■利用時の注意点

- ・マスクの着用をお願いします。
- ・平熱より1度高い場合は発熱となり利用できません。
- ・体調の悪い場合は、利用できません。

■その他 お気軽にご参加ください。平日はいつでも子育て相談をお受けしています。

■問合せ先

子育て支援センター（おぐに保育園内 ☎62-2330）へ

休日当番担当歯科医のお知らせ

4月3日(日)	長井 西原歯科医院	0238-84-7722	5月1日(日)	高島 千葉歯科医院	0238-57-4618
4月10日(日)	米沢 あさひ歯科医院	0238-24-0118	5月3日(火)	小国 加藤歯科医院	0238-62-2678
4月17日(日)	高島 高島歯科クリニック	0238-58-0814	5月4日(水)	南陽 いたう歯科クリニック	0238-50-0418
4月24日(日)	米沢 米沢クローバー歯科クリニック	0238-27-7301	5月5日(木)	米沢 近野歯科医院	0238-23-1187
4月29日(金)	米沢 金子歯科医院	0238-23-0909	5月8日(日)	長井 えんどう歯科クリニック	0238-24-1088

求 人 情 報

右の表は3月18日現在でハローワークへ登録された求人のうち、小国町をおもな就業先としている求人情報です。既に雇用が確定している場合もありますので、ご了承ください。求人情報の詳細については、ハローワーク長井（☎84-8609）へ

今月の納税 2022.4

4月の税金等の口座振替は、次のとおりです。振替日の前日まで、指定の口座に入金してください。

- 4月26日(火) 水道料
- 5月2日(月) 軽自動車税、介護保険料、下水道料、簡易水道料、住宅使用料、保育料、児童福祉使用料

■問合せ先

町民税務課税政管理室
(62-2403) へ

事業所名	職種	求人数	勤務時間
大和建设運輸㈱	大型トラック運転手	2人	8:00～17:00
	重機運転手	1人	
㈱東北労金サービス	労働金庫代理店での後方事務および窓口業務	1人	8:40～17:00
ハイコー㈱	電気工事（見習い可）	3人	8:00～17:00
ひさご電材㈱	電線加工・検査	3人	8:30～17:30
㈱小国技研	ボーリング洗浄工および作業管理補助	2人	8:00～17:00
特定非営利活動（NPO）法人まんまる	支援員／共同作業所まんまる	1人	8:30～17:00
	事務員	1人	
	支援員／地域活動支援センター「みらい」	1人	
クアーズテック㈱小国事業所	オペレーター／大型製造装置・加工機オペレーター、検査業務	6人	0:20～8:50他
斎藤建設㈱	一般作業員（土木・型枠）【急募】	2人	8:00～17:00
クアーズテックマシナリ㈱	技能職（電気保全・修理）	1人	8:20～17:10
味処 藤よし	調理補助および接客係	1人	10:00～14:00他
東北電力グループ㈱ エルタス東北 山形営業所	寮のパート勤務員	1人	9:00～12:00他
㈱東部開発	（臨）農作業員	2人	8:00～17:00の間の4時間程度
㈱山形銀行	銀行業務（事務・窓口：町内店舗）	1人	9:00～17:00の間の5時間

※先月号掲載分以降に新規で登録された求人を掲載しています。
 ※町ホームページに求人情報を掲載しています。

町職員の人事異動

【一】は前職

■退職（3月31日付）

▼町立病院医師（兼）介護老人保健施設医師山川洋平▼議事事務局局長（併）監査委員事務局局長齋藤勉▼教育振興課長（兼）おぐに開発総合センター所長井上伊勢男▼健康福祉課総括保健師長渡部恵子▼訪問看護ステーション看護主査渡部玲子▼町立病院医療安全管理係係長（兼）医療安全管理者（兼）外来看護師長桜井洋子▼産業振興課主任渡邊恵美▼おぐに保育園保育士小笠原柚希

■新規採用職員（4月1日付）

▼町立病院医師（兼）介護老人保健施設医師高橋裕也▼総務課主事補本田雅明▼総合政策課主事補佐藤晋介▼町民税務課主事補齋藤萌▼町民税務課主事補今野優希▼健康福祉課主事補安達龍輝

■併任（4月1日付）

▼町立病院医師（兼）介護老人保健施設医師阿部峻大

■再任用（4月1日付）

▼健康福祉課福祉推進指導員原田千鶴子▼産業振興課森林管理指導員舟山博▼産業振興課観光経済指導員加藤康浩▼産業振興課農地農業振興指導員齋藤勉▼

町立病院看護指導員塚原美春▼教育振興課高校魅力化推進指導員井上伊勢男

■昇任昇格（4月1日付）

▼地域整備課建設技術主幹（兼）建設技術室長伊藤鉄哉【地域整備課建設技術室長】▼教育振興課長（兼）おぐに開発総合センター所長（兼）生涯学習室長小野正晴【町民税務課町民生活室長】▼おぐに保育園長（兼）中央児童室長舟山真次【教育振興課生涯学習室長】▼町民税務課町民生活室長木村英和【町民税務課収納担当主査】▼町民税務課税政管理室長小池みどり【町民税務課住民窓口担当主査】▼総務課財政担当主査渡部寿郎【総務課財政担当係長】▼町民税務課国保医療担当主査鎌田泰子【町民税務課国保医療担当係長】▼健康福祉課地域包括支援センター主査宮尾とも子【健康福祉課地域包括支援センター係長】▼町立病院総務係長舟山さゆり【町立病院総務係長】▼町民税務課税担当係長木村明宏【町民税務課主任】▼産業振興課農政農村担当係長伊藤拓也【総務課主任】▼産業振興課森林振興担当係長渡部智也【総合政策課主任】▼教育振興課学校教育担当係長佐藤正樹【教育振興課主任】▼訪問看護ス

テーション看護師長舟山さゆり【訪問看護ステーション主任看護師】▼町民税務課主任室岡慶士【総務課付主事】▼訪問看護ステーション主任看護師小田綾【訪問看護ステーション看護師】

■配置替え（4月1日付）

▼議事事務局局長（併）監査委員事務局局長益田則幸【おぐに保育園長（兼）中央児童室長】▼會計室長大谷愛子【健康福祉課健康長寿推進室長】▼健康福祉課健康長寿推進室長（兼）地域包括支援センター次長瀬齊知倫【會計室長】▼町立病院看護副部長（兼）訪問看護ステーション次長日下雅美【訪問看護ステーション次長】▼町立病院医療安全管理室長（兼）外来看護室長（兼）地域健康看護主査（兼）医療安全管理者長坂幸子【町立病院医療安全管理室長（兼）地域健康看護主査（兼）地域医療連携室主査（兼）外来看護主査】▼町民税務課町民生活担当主査河内亮【地域整備課建設管理担当主査（兼）新潟山形南部連絡道路推進担当係長】▼健康福祉課福祉担当主査舟山亜樹【會計室主査】▼地域整備課建設管理担当主査（兼）新潟山形南部連絡道路推進担当係長羽田淳哲【町民税務課町民生活担当主査】▼教育振興課生涯学習担当主査金子弘範【産

業振興課農政農村担当主査】▼総務課管財担当係長岡崎恵【町民税務課課税担当係長】▼町民税務課住民窓口担当係長青木真由美【健康福祉課福祉担当係長】▼町民税務課収納担当係長佐藤孝太郎【産業振興課森林振興担当係長】▼おぐに保育園庶務係長山口真一【総務課管財担当係長】▼町立病院外来看護主査（兼）地域医療連携病棟看護主査（兼）地域医療連携病棟看護師長】▼町立病院病棟看護師長（兼）地域医療連携病棟看護師長三須千春【町立病院病棟看護師長】▼産業振興課主任今博貴【健康福祉課主任】▼會計室主事菅野綾子【健康福祉課主事】▼総務課主事小松諒【産業振興課主事】▼総務課主事高橋牧人【産業振興課主事】▼総務課主事伊藤澤奈【健康福祉課主事】▼総務課付主事高橋翔【総務課主事】▼総合政策課主事舟山大地【総務課主事】▼健康福祉課主事塚原駿一郎【産業振興課主事】▼産業振興課主事有路裕稀【町民税務課主事】▼産業振興課主事五十嵐愛穂【町民税務課主事】▼地域整備課主事益田圭汰【総合政策課主事】▼町立病院看護師（兼）医療安全管理室看護師勝見友子【町立病院看護師】▼総合政策課主事補吉田健人【町民税務課主事補】



●小国町役場 ☎ 62-2111 (代) fax62-5464
 ●総務課 ☎ 62-2112
 ●観光経済室 ☎ 62-2416
 ●住民窓口担当/町民生活担当 ☎ 62-2260
 ●建設管理室 ☎ 62-2431

●総合政策課 ☎ 62-2264
 ●白い森ブランド戦略室 ☎ 87-0821
 ●国保医療担当 ☎ 62-2261
 ●建設技術室 ☎ 62-2432

●会計室 ☎ 62-2406
 ●農林振興室 ☎ 62-2408
 ●税政管理室 ☎ 62-2403
 ●議会事務局 ☎ 62-2448

挑め、ともに！

小国高校魅力化通信 ⑫

地域との協働による高等学校教育改革推進事業「魅力化型」を振り返る

小国高校では、令和元年度から地域との協働による高等学校教育改革事業「魅力化型」として、地域ならではの新しい価値を創造する人材を育成するため、地域課題の解決等を通じた学習カリキュラムの構築を目指してきました。

最終年度となった令和3年度、学びを終えた石塚翼さん（3年生）3月当時）は、「僕が3年間のもりたん（白い森未来探究室）を通して学んだことは、地域の人や高校生との交流の大切さです。1年時の地域講座や小国町探検では、それぞれ希望の場所を訪ねて地域に浸り、魅力を再発見し、2年時にはマイプロジェクトとして、自分のテーマを持って探究。僕は羽越水害について調べ、今後の人生で災害が発生した時に対応できるように探究しました。僕以外にも個性あふれるテーマが多く、「ダンスイベントの開催」や「高校生力



石塚 翼さん

フエ開店」「オリジナル物語の執筆」など、一人ひとりがやりたいうことに取り組みました。3年時は3つのゼミに分かれて活動。
 ①国際交流から気づきを深める阿部&ブライアンコーディネーターの国際探究ゼミ。②読書や対話などを通して、「自分とは?」「正義とは?」などの問いに向かう坂口コーディネーターの学問探究ゼミ。③新しいテーマを掲げてマイプロジェクトを行う個人探究ゼミ。それぞれゼミを通して、自分のライフワークや進路を意識する学びができました。
 後輩の皆さんにも、小国でしかない、自分の探究を楽しんでもらいたいです!」と3年間の取り組みを話していただきました。今後特色ある学びが小国高校では続けられます。

地域みらい留学365活動報告会

令和3年度から小国高校では、県外から高校2年生の1年間を小国高校で過ごす「地域みらい留学365」の留学生を受け入れています。高校の修了式を終えた留学生4人が、3月24日に小国町役場において町長や小国高校を支援する会（安部昌晴会長）など関係者に1年間の活動を報告しました。

報告会では、留学生から振り返りとともに、お世話になったかたについてや大変だったことなどが話され、栃木から留学した幸田侑也さんは「小国高校では、グレードマッチ（体育祭）などの競技決定など、生徒が主体的に活動する場面が多いと感じました。また、ささいなことがきっかけで、色々な地域の大人のかたと交流をもつことが多くあったことが印象的です。これまでには経験することがなく、留学をしたからできたことだと感じています。」と話してくださいました。

1年間という短い期間の中で、小国でしか体験できない地域に密着し、主体的に取り組む姿勢を学ぶことができたようです。4月からは元の高校に3年生として戻ることとなりますが、きっと小国でのことを思い出しながら、今後の生活や将来に活かしていただけるものと思います。

令和4年度は、地域みらい留学365に5人、3年間過ごす白い森留学に7人を受け入れることが決まっています。



4月1日運用開始

LINE 公式アカウント

友だち 募集中

山形県小国町

LINEの「友だち追加」から、ID検索するか
QRコードをスキャンしてください



友だち登録で
お知らせを受け取ろう

@shiroimori_oguni